

患者さんパンフレット

四国がんセンター
呼吸器内科



私たち医療スタッフは

- I. 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II. 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



アリムタ療法を受けられる

_____ さま

主治医/担当医 []

受け持ち看護師 []

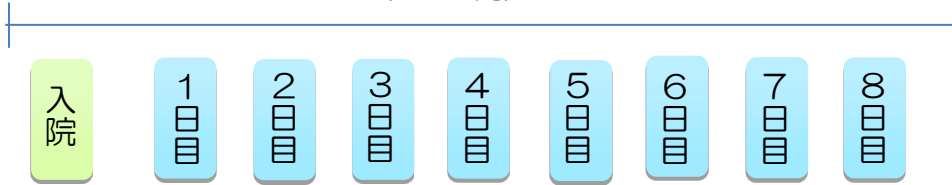


Shikoku
Cancer Center

2017年9月1日 作成
2026年3月4日 改訂

アリムタ療法のスケジュール

1コース（21日間）



アリムタ



約30分の点滴です

・この他に、アレルギー予防や副作用予防のための点滴があります

- ・抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- ・息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は、約3週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては、予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日～治療前日 月 日～ 月 日



今日の目標

- ・ 治療の必要性、副作用について理解できる
- ・ 医療スタッフの説明が理解できる
- ・ ビタミン剤を自分で管理し、飲むことができる

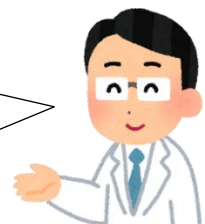
<時間>	<予定>	
11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none">・ 看護師から病院内、病棟内の説明があります（テレビの病院案内も参考にしてください）・ 検温、血圧測定
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none">・ 医師より治療の説明があります・ サインをした同意書は看護師にお渡しください・ 初回治療のときは、栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります
	身体計測 血液検査 レントゲン検査	<ul style="list-style-type: none">・ 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください・ わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
		<お薬> <ul style="list-style-type: none">・ 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします・ ビタミン剤（パンビタン粉末）を正しく飲んでいるか確認します
18:00	夕食	<食事> <ul style="list-style-type: none">・ 食物アレルギーのある方は、医療スタッフにお知らせください・ 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
21:30	消灯	<治療前日> <ul style="list-style-type: none">・ 看護師より治療の流れと副作用について説明があります・ 薬剤師より薬の説明があります・ 治療前日は、入浴をしておきましょう

決められた時間に
パンビタン粉末を
飲みましょう



医療スタッフの目標


- ・ 入院生活や抗がん剤治療の対する不安や心配ごとがないように支援します





今日の目標

- 予定どおり、安全に治療を受けることができる
- ビタミン剤を自分で管理し飲むことができる

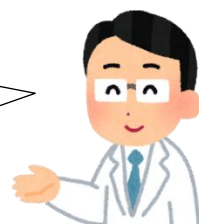
<時間>	<予定>	
6:00	起床 検温、血圧測定	<ul style="list-style-type: none"> • 点滴は30分程度で終わる予定です 開始時刻については、看護師からお知らせします () 時から、点滴をします
7:30	朝食	<治療時の注意点> <ul style="list-style-type: none"> • 事前に、トイレは済ませておきましょう
10:00	検温、血圧測定	
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> • 点滴中は管を無理に引っ張ったり、針の入っているところを押さえたりしないようにしましょう 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください • 点滴の漏れを防ぐために移動や着替えなど、身の回りのことを看護師はお手伝いをします <p>息が苦しい、胸がドキドキするなど、変わったことがあればすぐに看護師にお知らせください</p>
18:00	夕食	<div style="border: 1px solid pink; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 決められた時間に パンビタン粉末を 飲みましょう </div> 
19:00	検温、血圧測定	
21:30	消灯	

MEMO

気になることや症状など、書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状があれば、医療スタッフに知らせることができる
- ・ビタミン剤を自分で管理し飲むことができる

<時間>	<予定>	
6:00	起床	・副作用の対処方法や日常の過ごし方など不明な点があればお知らせください
7:30	朝食	・吐き気や口内炎などで食事が食べにくいときは、食事内容を変更できます
10:00	検温、血圧測定	また、栄養士と相談できますのでご希望の場合は、遠慮せず看護師にお伝えください
12:00	昼食	
		決められた時間にパンビタン粉末を飲みましょう
18:00	夕食	
21:30	消灯	



MEMO

気になることや症状など、書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・不安なく療養できるように支援します





今日の目標

- ・副作用症状があれば医療スタッフに知らせることができる
- ・ビタミン剤を自分で管理し飲むことができる

<時間> <予定>

6:00 起床

7:30 朝食

10:00 検温、血圧測定

12:00 昼食

18:00 夕食

21:30 消灯

- ・副作用の対処方法や日常の過ごし方など不明な点があればお知らせください
- ・手洗い、うがいを行い、マスクを着用しましょう
- ・治療8日目、治療12日目は血液検査、レントゲン検査があります



息が苦しくなった、咳が増えた、皮疹（発疹）が出た、37.5℃以上の熱が出たときなどは、早めに看護師にお知らせください

決められた時間にパンビタン粉末を飲みましょう

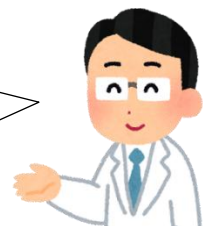


MEMO

気になることや症状など、書き留めておきましょう

医療スタッフの目標



- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・不安なく療養できるように支援します





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>	<予定>	
6:00	起床	 <p>血液検査、レントゲン検査結果で 医師から退院許可が出ます</p>
7:30	朝食	
9:30	血液検査、レントゲン検査	
10:00	検温、血圧測定	<p>・次回受診日、退院後の日常生活について説明をします 「退院後の日常生活について」ページ参照</p> <p>・次回から外来治療になります 通院治療室の見学を午後からします 時間は決定次第、看護師からお知らせします</p> <p>() 時から行きます</p>
12:00	昼食	
18:00	夕食	 <p>決められた時間に パンビタン粉末を 飲みましょう</p>
21:30	消灯	

MEMO

気になることや症状など、書き留めておきましょう

- 医療スタッフの目標
- ・退院の準備をすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の日標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

退院後も
パンビタン粉末を
飲み続けましょう



- ・ビタミンの筋肉注射は
約2か月ごとに外来で実施します

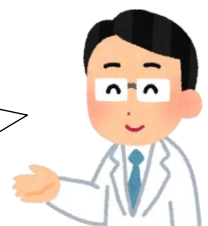
次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

医療スタッフの日標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します

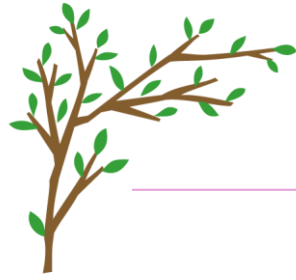


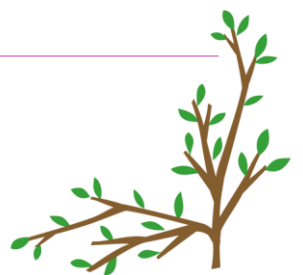
アリムタ療法

体調の変化や副作用症状を書きとめていきましょう

	月日			月日	
1 日 目	／		8 日 目	／	
2 日 目	／		9 日 目	／	
3 日 目	／		10 日 目	／	
4 日 目	／		11 日 目	／	
5 日 目	／		12 日 目	／	
6 日 目	／		13 日 目	／	
7 日 目	／		14 日 目	／	

	月日	
15 日 目	／	
16 日 目	／	
17 日 目	／	
18 日 目	／	
19 日 目	／	
20 日 目	／	
21 日 目	／	





外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了



検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

予約センターは
B受付の隣です



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●呼吸

息苦しさや咳がひどくならないか、注意してください
息苦しさが続くとき、ひどい咳が続くときは、
がん相談支援センターにご相談ください

●食事

無理をしないで食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、
少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

食事が上手くすすまないときは、退院後でも栄養相談を受けることもできます
いつでも看護師にお知らせください

●排泄

なるべく便秘をしないように気をつけましょう
軽い運動や水分をとるようにしましょう

下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります



便秘ぎみの方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロール
をしましょう

退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
自転車やバイク、自動車の運転もできます

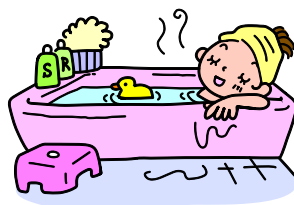
活動について迷うことがあれば医療スタッフにご相談ください



●入浴

特に制限はありません
今までどおりでかまいません

皮膚は清潔に保ちましょう



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

ちょっと待って！
今 辞めないで
その仕事

●お薬

お薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院のお薬を服用する場合は、医師に相談してください
服用しても症状が改善されない場合は、がん相談支援センターに
ご連絡ください

パンピタン粉末はビタミンのお薬です
退院後も飲み続けましょう



わからないこと、心配なことがあれば
遠慮なくお尋ねください





- 37.5℃以上熱があるとき
- 皮疹が出現したとき
- 皮疹が悪化したとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



アリムタ療法を受けられる方へ